

何を使う

機器 スマートフォンまたはタブレット（グループに1台）
大型提示装置（共有用）

ソフトウェア（アプリ）

カメラ、画面共有



それをどう使う（それで何ができる）

<授業の初めに、前時の振り返りを行う。>

- ① 各自が家庭学習で前時の内容をまとめ来る。
- ② 授業の冒頭でグループごとにノートを見せ合い、代表を一つ選ぶ。
- ③ タブレット等のカメラでノートを撮影し、教員のPCに送信。
- ④ 教員は、各グループのノートをスクリーンに表示し、前時の振り返りを行う。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

【 Before 】

- 授業の最初にグループで代表を決め、黒板に前時のまとめを板書。
- 教員は、黒板を使って前時の振り返りを行う。

【 After 】 **メリット**

- 生徒が黒板にまとめを板書するのにかかる時間が短縮でき、生徒の活動時間を確保できる。
- ノートがそのまま写されるので、家庭学習のモチベーションが上がる。また、見る人の気持ちを考えてノートを作ることや、よりわかりやすくまとめる工夫をすることで、知識が定着し、考える力が育つ。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○		大型提示装置				
端末はグループに1台					○			○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	1人1台端末			
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		全教科	
	○	○	○	○	活用が想定される場面		授業の冒頭	